



# 校長室だより

令和5年度

6月16日

NO. 13

## それぞれの夏、それぞれの思い

ホタルのほのかな光を見ると、夏が始まるのを感じます。13日には4年生が主催して「ホタル観賞会」が行われました。梅雨の晴れ間、これまでの大雨や梅雨等、いくつかの困難を潜り抜けた、今季たぶん最後であろうゲンジボタルたちの灯を見ることができました。岡崎ゲンジボタル河合保存会の川澄様にもいろいろ教えてもらいながら、秦梨の田や野に飛ぶホタルを数え、秦梨の自然を感じました。今回この会に向けて4年生の子は、いろいろ準備をしてきました。会の計画を立てたり、しおりを作ったり、会を進行したりする中で、ホタルのことにも詳しくなり、生きた学びとなりました。



アジサイの花が咲くと夏の訪れを感じます。冬の間、元気のなかったアジサイも、夏には大きな花をつけます。アジサイにはさまざまな種類があり、梅雨の中、つつましげに咲くアジサイに心癒されます。そのアジサイにちなんで、図書委員の主催による「アジサイ読書週間」が始まりました。普段、なかなか本を読む機会のない子にとって、たくさんの本に触れる機会になります。お昼の休み時間には、6年生の放送・図書委員の子が、低学年の子に、読み聞かせをする姿が見られました。1年生の子も、目を輝かせて、聞いていました。



プールにはじける水しぶきを見ると夏の到来を感じます。12日にはプール開きを行い、14日には、3、4年生が、今年初めてプールに入りました。コロナ期間中は、なにかと不自由を感じられましたが、規制緩和を受け、いよいよ水泳も本番です。子供たちは、久しぶりで慣れない水にドキドキしながら、忘れていた泳ぎを思い出したようにワクワクしながら、うれしそうに水の中で、輝きます。



6月21日は「夏至」になります。まさに、もう夏本番です。昼間が長く、夜が来るのが遅く感じられる子も、(遊び時間が増えたと感じる子も) いるのではないのでしょうか。夕方、梅雨の合間の運動場では、いつもより熱く、いつもより元気に、部活動に励む子供たちの声が響きます。この夏を味わうように、子供たちは、浣漉と体をいっぱいを使い、運動場を駆け回ります。それぞれの子に、運動や勉強で、それぞれの夏がやってきます。一人ひとりの子ごとに、それぞれの楽しみ方で、(健康に気をつけて…) 暑い夏を過ごしていきたいです。